

# 伊万里小 せせらぎ

## 第15号

R3.6.2

学校目標

輝け！伊万里小

校長 長谷川 晃三郎



## 歓迎集会



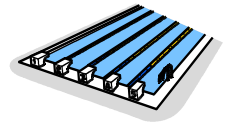
昨年度は実施できなかった1年生の歓迎集会（歓迎週間のみ実施）を今年度は5月13日に実施しました。

歌声委員会の皆さんのリードで1週間以上練習してきた歌を全校で合唱した後、運営・集会委員会の皆さんが1年生に楽しいクイズを出して会を盛り上げました。その後、1年生がかわいらしいダンスを披露してくれました。

1年生は学校にも慣れ、楽しく生活しています。話の聞き方や返事、挨拶などとても上手になりました。4月は6年生が手伝っていた掃除や給食当番も自分たちだけでしっかりとできています。とてもよくがんばっている1年生の子どもたちです。



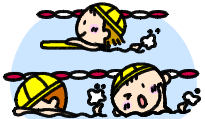
## プール掃除



5月24日5、6校時に6年生がプール掃除を行いました。昨年解放していなかったため、2年間分の泥汚れを隅々まできれいに掃除してくれました。更衣室やトイレも協力して行き、見違えるようにきれいになりました。

今年の6年生も本当によく動き、全校のために一生懸命働きます。いやなことや苦手なことにも進んで挑戦することもできますし、粘り強さもあります。頼もしい6年生のおかげで気持ちよくプールを利用することができます。

プール開放は6月7日の6年生を皮切りに、順次行っていきます。



## 水泳の授業等について



コロナの感染がなかなか止まらず、保護者の皆様もいろいろとご心配のことと思います。今年度水泳の授業についてですが、今年度は回数を減らして実施することにしました。中止についても考えたのですが、今年度も中止となると2年連続で水泳や水遊びができないことになり、それは避けたいとの考えで実施することにしました。ただ、国の指針《・2メートルの間隔をとる ・私語や歓声は上げない ・シャワーも間隔をとって行う ・更衣室での感染に十分留意する 等》に沿って行うには、学年での合同の水泳は人数が多くなりできません。学級ごとに指導すると指導者が一人になり、特に低学年は安全面の確保から級外等で補助を確保する必要があります。また、プールの更衣室も狭いので、他の場所を考えないといけません。このようなことから今年度は週3回の体育の内、1時間程度を水泳の授業とし、水に親しむことを目的に行うこととしました。担任だけではなく、全時間級外も入って見守ります。夏休みの水泳教室やプール解放はしません。

子どもたちにはまた不便な思いをさせることとなりますが、コロナ対策と安全に十分配慮をしながらやっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



# 全校朝会での話



みなさんは立腰というかけ声と共に腰骨をたて一日の始まりを迎えたり、掃除をしたりしています。今日はこの立腰について少し話をします。

漢字で書くと難しいですが、こうなります。腰をたてると書いてりつようと読みます。腰を立てるためには腰骨というところを体の内側に入れなくてはなりません。腰骨ってどこにあるか分かりますか。だいたいへその位置です。へその反対側背中の方に腰骨があります。ちょっと触ってみます。まず、いすに浅く座ります。背もたれに背中につけません。足の裏全体を床にペタっとつけます。おへそを触ります。そしてその高さをそのままに、手を後ろに回します。へその反対側です。そのあたりが腰骨の位置です。手でぐーっとお腹の方に押ししてみてください。腰骨が前の方にきたかな。この状態を腰骨をたてると言います。こうなると自然と頭が後ろの方にいきます。その時あごも前の方に出てしまいますので、そのままの状態であごをひきます。背筋は自然と伸びます。

今みなさん立腰の姿勢をしています。その姿勢が楽だと感じる人手を挙げてください。逆にきつい、つらいと感じる人手を挙げてください。

立腰の姿勢が普通にできるようになると集中力が高まったり、体が健康になったりします。でも立腰と言われたときだけして、そうでないときにできていないと効果はありません。あなたたちの普段の授業中の姿勢はどうでしょう。腰骨は入っていますか。背筋は伸びていますか。時々、振り返ってみてください。いつもその姿勢ができる。座っていてその姿勢が楽だと思えるようになれば本物です。

立腰を教育の一環として位置づけた人は哲学者の森信三先生といわれる方です。この森先生は生活の中で特に大切にしたい事を3つ言われました。それは

◆返事 ◆挨拶 ◆スリッパ並べ

です。この3つは特別なことではありません。当たり前のことです。でも、この3つを続けて行くと、相手の気持ちが分かる心優しい人になります。勉強もよくできるようになります。

返事と挨拶は伊万里小学校の7つの目標に入っています。スリッパ並べは毎日常生活の松尾洋子先生や加奈先生が給食時間に毎日放送をされています。

昨年プロ野球のイチロー選手の言葉を全校朝会で紹介をしました。覚えていますか。「特別なことをするために普段通りの当たり前のことをする。」それと同じような意味の言葉に「当たり前のことこそ難しい。当たり前のことを続けて行くとそれは特別になる。」という言葉も紹介をしました。

皆さんは返事や挨拶、感謝の言葉、スリッパ並べをよく頑張っています。でも、さっきの立腰の姿勢と同じで言われたときだけでも、意味がありません。学校だけでなく家庭や地域でも同じように家庭や地域でできるようにできているのでしょうか。家庭や地域でも同じように頑張っているという人手を挙げてください。

学校のトイレのスリッパ並べだけでなく、家に帰ってから靴をきちんと並べているという人手を挙げてください。

5月になってから地域の方から3本電話がありました。そのうちの二つは「このごろ挨拶をよくしてくれて、それだけで一日とても気持ちよく過ごすことができる。」というもの。もう一つは落ち葉を集めていたら、その落ち葉を見て「きれいですね。」と声をかけてくれた。掃除をしながら小学生から声をかけてもらえることがとても嬉しかった」というものです。

この頃地域の中での挨拶などがとても上手になったという声をよく聞くようになりました。あなたたちがよく頑張っている証拠です。とても嬉しく思います。でもまだ、学校と同じくらいにはできていないと思っています。

学校ではあたりまえのことがあたりまえにできているみなさんはとても素晴らしいです。どうぞそのことが本当の力となるよう家庭や地域で学校と同じくらいに頑張ってください。そして、さらにキラキラと輝くすばらしい伊万里小学校にしてください。



